

令和6年 7月8日
(一財)北海道陸上競技協会
強化委員会

第39回東日本女子駅伝競走大会 北海道選手団の選考について(改訂版)

1. 大会日程

令和6年11月10日(日) 福島県福島市

2. チーム編成

監督1名・コーチ2名・選手13名 合計16名

3. コーチングスタッフ

監督 石橋 美穂(白樺学園高等学校)

コーチ 堀澤 拓磨(雄武町立雄武中学校)

コーチ 茂野 淳一(札幌創成高等学校)

※上記3名に協力コーチ・トレーナー等を加えて編成する

4. 代表選手選考方法

中学

- ①9月開催の南部忠平記念陸上競技大会(函館市)3000mで優勝かつ10分20以内の選手を代表内定選手とする。
- ②他の2選手については令和6年4月1日から9月29日までの3000mの公認記録を参考に上位から選出する。
- ③駅伝大会本戦への出場は選考トライアルを行うこととし、別途連絡する。
 - ※①で内定選手がでない場合は②の記録上位2名を3名にして選出することとする。
 - ※ただし直前の故障や体調不良での変更はあり得る。
 - ※中学1年生は対象としない。

高校

下記の日程までに各大会で出した記録を参考に選出する。

令和6年4月1日から9月20日までの公認記録。

選考対象種目:3000m

9'30"00を選考基準タイムとし、それ以外は記録順で選抜する。

- ①人数については一般と調整の上、決定するが、高校生の人数は3~10名とする。
- ②秋(9月)の状態を確認するため、強化委員会指定大会への出場を依頼する場合あり。
- ③駅伝大会本戦への出場は現地入りしてからの状態を見て決定する。(代表内定記録順では出走の決定はしない。直前の選考トライアルなどの実施については別途連絡する)

大学・一般

令和6年4月1日から令和6年9月20日までの3000m、5000m公認記録上位者より各実業団、大学駅伝の実績を考慮し、ふるさと枠を有効に活用しながら選手を決定(0~7名)する。

3000mが9' 30" 00以内、5000mが16' 40" 00以内の記録突破者を基準とし、選考対象を追加する場合もあり。

※ただし、基本的に5000mの記録を優先し、大会スケジュールや体調により調整が困難な場合、下位対象者が繰り上がることとする。

※人数については高校生と調整の上、決定する。

5. その他

- 代表選手の選考にあたり、原則として辞退者が出た場合やケガ・体調不良等が発生した場合、また強化委員会で開催する練習会・合宿等で派遣を委嘱されたにも関わらず不参加の場合、下位対象者が繰り上がることとする。なお、練習会・合宿等は出走選手の選考材料ともなるので委嘱された場合は必ず参加すること。
- 本戦の出走は基本的には内定記録順位を優先するが、開催地に現地入りしてからの状態並びに直前に実施するトライアルの結果を見て判断する場合もある。北海道チームとして上位を目指す上での判断となりますのでご理解をお願いします。
- 選考基準についての問い合わせは札幌市立栄南中学校 氏家まで。